

## 日本ばね工業会規格（JSMA規格）

SA001	2009	皿ばね
SA002	2013	熱間成形竹の子ばね
SA003	2013	トーションバー
SA004	2014	熱間成形角ばね
SA005	2016	熱間成形圧縮コイルばね
SA006	2017	トレーリングリーフ
SA007	2014	輪ばね
SA008	2002	自動車部品—スタビライザ
SA010	2018	重ね板ばね
SB001-1	2018	冷間成形コイルばね—第1部：基本計算方法
SB001-2	2018	冷間成形コイルばね—第2部：仕様の表し方
SB004	2002	圧縮非円筒コイルばね設計基準
SB005	2016	線細工ばね（ワイヤフォーミング）の普通寸法公差
SB006	2009	スナップピン
SB007	2020	冷間成形圧縮長円コイルばね
SB008	2003	クラッチスプリング設計基準
SB009	2020	コイルドウェーブスプリング
SC001	2015	溝付き及び二重巻きスプリングピン
SC003	2016	高張力座金
SC004	2018	波形座金
SC005	2014	薄板ばね基本計算方法（SC008：2002包含）
SC006	2019	波形ばね座金
SC007	2019	薄板ばねの硬さ試験—試験方法
SC009	2013	ぜんまい設計基準
SC010	2014	ばね板ナット（SC002：2001 包含）
SC011	2018	薄板ばねの遅れ破壊防止方法
SC012	2017	薄板ばねの試験基準
SD001	2020	ばねのショットピーニング
SD002	2014	ばね用鋼線の組織観察による脱炭層測定方法
SD003	1987	耐熱圧縮コイルばね設計基準
SD004	2003	ばね用鋼材における非金属介在物の顕微鏡試験法
SD009	2015	ねじりコイルばねのねじりモーメント測定方法
SD010	2013	圧縮コイルばね耐熱性試験方法
SD011	2002	疲労試験データの統計的処理方法
SD012	2002	ばね用薄板の応力緩和試験方法
SD013	2018	ばね用鋼線の硬さ測定方法
SD014	2018	ばね用オイルテンパー線の硬さによる脱炭層深さ測定方法
SZ001	2016	日本ばね工業会規格制定・改廃規定
SZ002	2011	ばね製図—幾何公差の図示方法
SZ003	2020	ばね関連記号
SZ004	2013	日本ばね工業会技術報告書制定・改廃規定

TRD001	2014	ばね用薄板表面のピッカーズ硬さ試験方法（会員閲覧専用）
TRD002	2014	ばね用薄板・細線の引張試験方法（会員閲覧専用）
TRD003	2014	ばね用薄板の疲労試験方法（会員閲覧専用）
TRD004-1	2017	ばねの測定及び試験方法—第1部：圧縮コイルばね（会員閲覧専用）
TRD008	2019	ばね用線の大たわみ回転曲げ疲労試験方法（会員閲覧専用）

### （参考 1） JSMA規格の分類

- SA○○○：熱間成形ばね部会が原案作成した規格
- SB○○○：冷間成形ばね（線関係）部会が原案作成した規格
- SC○○○：冷間成形ばね（薄板関係）部会が原案作成した規格
- SD○○○：機能規格部会が原案作成した規格
- SZ○○○：各部会に共通した規格。主に機能規格部会が原案を作成した規格
- TR(A, B, C, D, Z)○○○：技術報告書（括弧内は原案を担当した部会を示す）

### （参考 2） 新旧規格番号の対応

2000年以前発行の旧規格番号と、2001年以降の新規格番号との対応は下記の通り。  
旧規格は在庫消化後、追加印刷時に新規番号をつける。規格名称は前表を参照。

旧規格番号	新規格番号	（注）※印は2014年に廃止した。
NO.14：1996	SD005：1996（※）	
NO.15：1996	SD006：1996（※）	
NO.16：1996	SD007：1996（※）	
NO.17：1997	SD008：1997	